

Sakura Lake(大相模調節池)で、水辺の新しい楽しみ方がスタート

埼玉県では、Sakura Lake(大相模調節池:元荒川・越谷市)において「Next川の再生・水辺 de ベンチャーチャレンジ」を推進しています。本取組は、「埼玉版 SDGs」の重点テーマ「埼玉の豊かな水と緑を守り育む」に位置付けられており、企画段階から民間事業者、県、市が連携して良好な水辺空間を創出し、地域のにぎわいづくりにつなげるものです。

Sakura Lake(大相模調節池)では、イオンモール株式会社、埼玉県、越谷市が連携し、“「越谷スタンダード」を生み出す水辺のにぎわい拠点”をコンセプトに整備を進めてきました。水上デッキでの飲食を楽しめる”レイクサイドダイニング”、アクティビティやテイクアウト飲食を楽しめる“レイクサイドパーク”と水辺を身近に楽しめる新たな空間が誕生しました。

このたび、各ゾーンの整備が完了し、水辺の新たな利活用が始まったことから、下記のとおり開業記念セレモニーが開催されます。どなたでもご参加いただけますので、ぜひお越しください。

施設の詳細はこちら <https://www.aeonmall.com/news/index/16283/>

○開業記念セレモニーについて（予定）

日 時	令和8年6月13日（土曜日）10時30分から11時00分まで
会 場	Sakura Lake（大相模調節池）河畔 「レイクサイドパーク」特設会場 （雨天時）越谷市観光協会水辺のまちづくり館
主 催	イオンモール株式会社（代表取締役 大野恵司）
内 容	・地元団体演奏パフォーマンス 叡明高等学校 吹奏楽部 ・主催及び来賓挨拶 ・記念撮影 ・越谷だるま 目入れセレモニー

※知事、市長はセレモニー後に現地視察予定

来 賓	・大野 元裕 埼玉県知事 ・福田 晃 越谷市長 ほか
-----	-------------------------------

「Next 川の再生・水辺 de ベンチャーチャレンジ」とは

河川空間の利活用について、企画段階から民間事業者等との連携を強化し、魅力ある水辺空間の創出を図る取組です。利活用内容は、行政、地域住民、民間事業者等で構成する利用調整協議会で検討し、合意したプランに基づき整備を推進します。

- ・ 県：利活用を行いやすくするための河川構造物の整備を実施する
- ・ 民間事業者等：オープンカフェやアクティビティ施設を運営する
運営に必要な維持管理を行う
- ・ 市町村：事業立案者として事業計画書の策定を行う
運営に必要なインフラや周辺施設の整備を行う
- ・ 地域住民：美化活動や地域活動を行う
地元にとってもメリットのある水辺を目指して検討を実施する

現在、元荒川・越谷市を含む13箇所が実施候補箇所に登録されています。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a1008/venture.html>

Sakura Lake(大相模調節池)の概要

大相模調節池は、JR武蔵野線越谷レイクタウン駅を囲むように位置し、ショッピングモール「イオンレイクタウン」に隣接しています。洪水時には、東京ドームの容量に匹敵する120万立方メートルの水を元荒川から導水し貯留することができ、流域の浸水被害の軽減を図ります。

また、令和7年2月25日からイオンモール株式会社とのネーミングライツ契約により、愛称を「Sakura Lake」としています。

○その他（問合せ等）

- ・ 開業記念セレモニーへの問合せ：
イオンモール株式会社
社長室 広報グループ 電話：043-212-6733
- ・ これまでの川の再生の取組：

埼玉県河川環境課 Web ページ

川の国埼玉

検索

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a1008/kawanosaiseikaseniji.html>

